

令和 7 年度 加茂地区タウンミーティング 発言要旨

【日 時】 令和 7 年 11 月 19 日(水)10:00~11:30

【場 所】 加茂公民館 会議室

【出席者】 地域: 8 人(連合自治会長ほか)

市: 市長、建設部長、加茂公民館長

【テーマ】 (1)地区内の交通安全対策

(2)フリートーク

R7.11.19 当日の発言内容

(1)地区内の交通安全対策

■参加者

・国道 194 号において、西条市内から右折して公民館の道に入る時に危険を感じている。方向指示器を出しているにもかかわらず、後続者車が右側から追い越してくる。警察にも要望しているがなかなか改善されない。部分的な追越し禁止のライン引きと看板の設置をお願いしたい。

●建設部長

・過去も同じ要望を受け、警察に伝えている。当時の警察の回答は、愛媛県公安委員会に上申をして判断を仰ぐことになり難しいということだったが、今回 11 月 11 日に市から交通課に内容を再度伝え、見解を確認した。(以下、警察の見解)

①追越し禁止ラインは罰則を伴う規制になるので、現場の道路交通状況を総合的に判断した結果、これまで見送っている。

②横断歩道付近は追越し禁止となっているので、現場付近にある横断歩道が見えやすいように補修を行った。

③引き続き道路管理者である愛媛県、警察合同で現場点検を実施した上で、安全対策の可否を検討させていただきたい。規制をかける前に看板を設置できるかどうか検討する。

・警察公安委員会が部分的なライン引きを認めるかどうかはわからないが、具体的な要望箇所を警察に伝えたいので教えてほしい。

■参加者

・合同点検はいつ実施するのか。なぜ今まで要望が通らなかったか。

●建設部長

・合同点検の時期を確認したい。

・国道であるかどうかは関係ないと思う。

・公安委員会がどのように判断したかはわからないが、警察としては、県全体で追越し禁止を減らしていきたいようだ。追い越し禁止の規制がかかっている場所付近に住んでいる方から、解除してほしいという要

望もあると思う。

■参加者

- ・国道 194 号において、加茂地区は通過点に過ぎず、道路下に集落があることがわかりづらい。西条方面からは集落が見えないので、方向指示器を出すと、追い越していいという合図に捉えられるようだ。
- ・(自分が運転する際は)千町地区への入り口辺りに待避所があるので、後続車に追い抜いてもらっている。
- ・街の方に出ていくことがよくあるが、実際に現場を確認しないと危険性がわからないと思う。土日の交通量がとても多い。
- ・時々パトカーも巡回しているが、交通量が増加しているので危険性を理解してほしい。いつ事故が起きるかわからない。

●市長

- ・地域の皆様が継続的に要望しているおかげで、警察に検討してもらえることになったと思う。合同点検も早急に実施してもらえよう市としても一緒に要望していきたい。
- ・交通量が増加していると認識している。県は観光を推進しているので、さらに交通量が増加することが考えられる。警察にもライン引きや看板の設置等対応いただきたいと考えている。

国道 194 号のトンネル内の照明

■参加者

- ・国道 194 号にある 4 つのトンネル(八之川・風透・下津池・大樽)の中が暗い。
- ・紅葉の時期は車や自転車の交通量が多く、トンネルの中では自転車が点滅タイプのライトを点けていないと認識しづらい。
- ・トンネルの入口は目が慣れていないので特に危険。市からも県に照明の設置を要望してほしい。

●建設部長

- ・東予地方局に確認したところ、現在、県内のトンネルにはナトリウムランプを使用しているが、順次LED化を進めているようだ。該当トンネルは予算の関係でまだ実施できていないが、今後予算要求して実施していくということである。
- ・ナトリウムランプは現在製造されていないが、切れているようであれば、他のところで不要になったものと交換してもらえようように県に伝えていきたい。
- ・5年ごとの調査(交通センサス)によると、自動車や自転車の交通量が増加していることは事実。紅葉シーズンやサイクリングシーズンはそれ以上に多いことは間違いない。
- ・愛媛県知事が理事になっている会(ジャパンエコトラック推進協議会)では、「そらやま街道サイクリングルート」が制定されて、観光客を呼び込んでいるので、自転車が增加している要因の一つだと考えられる。
- ・こういったことを踏まえて、安全面のところを警察に伝えていきたい。

●市長

・4つのトンネルの中で優先順位はあるか。

■参加者

・風透、大樽トンネルが長く、カーブになっていて見づらいので、優先的に実施してもらいたい。トンネル内で部分的に変えるだけでもよい。

●建設部長

・県の方針としては、一つのトンネル内で部分的に照明を交換すると配線など工事の手間もかかるので、トンネルごとに対応したいようだ。

●市長

・地域住民の皆さんの声は、国や県に直接届きにくいこともあるので、その部分は市がしっかりコーディネートする必要があると思っている。

■参加者

・要望に対する解決策を考えてほしい。

・高齢者が運転する車はスピードが遅いため、後続車はイライラしており、そこへ右折しようとするときに右側を追い越していくのだと思う。

・国道194号は道幅が狭く、左側から追い越せるほど路肩が広くない。トラックも増えているが、坂があるのでスピードが遅くなる。

■参加者

・八之川トンネル付近で死亡事故発生した時は、地域から依頼しなくてもすぐに追い越し禁止になった。

●市長

・警察だけでなく、国や県にもしっかり要望していく必要があると考えている。

(2)フリートーク

桜の木

■参加者

・記念植樹された桜の木が大きくなりすぎているが、このまま放置していいのか。

・桜の木は大きくなることを踏まえた上で、今後の植樹について考えてほしい。

●建設部長

・街中では、街路樹の楠が大きくなっているので、間引きなどの対策を講じている。

●市長

・記念植樹の伐採は、地域の総意を確認した上での対応となる。

■参加者

・一昨年、桜の木を10本だけ手入れしているが、観光を推進するのであれば、加茂にある街路樹の桜も大事にする必要がある。

■参加者

・加茂に貢献した人物の碑が4つほどあり、近くに植えられている桜の木が大きくなっているので、伐採した方がいい。また、土のうを除けてコンクリートにした方がいい。

●建設部長

・確認する。

(3)よりそいタクシー

■参加者

・会員登録をしているものの利用していない。加茂地区では利用者が少ないと思うので、今後廃止されないか心配。

●市長

・廃止することはないと思う。

(4)加茂公民館外壁の剥落

■参加者

・外壁が剥落する可能性があり危険なため、現在夜間の使用が禁止になっている。できれば修復工事をお願いしたい。

●市長

・公民館の外壁修繕に数千万円かかると聞いている。部分的な修繕も一つの方法だと思うが、自分はこの建物が昭和のモニュメントのように感じる。

・地域の皆さんにとって公民館が重要な役割を果たしていると思うが、例えば映画の1シーンに使用されることもあるので、建物自体の存在価値を高めることを含め、継続的に利用していくために何ができるかということも頭の片隅に置いていただきたい。

●建設部長

・外壁が剥落している箇所は、安全対策としてロープを張り立ち入り禁止にしている。

・剥離の進行具合を確認するため、専門業者にパトロール点検を委託している。現時点で工事を予定していないので、点検頻度を高めている。

・市内小中学校でも外壁剥離が発生しており、令和6年度から老朽化が進行している校舎から外壁工事を

実施している。

- ・この施設の今後の方針については決まっていないが、教育委員会としては、地域の皆さんが公民館として使い続けたいという思いがあることを認知している。

■参加者

- ・約5年前に修繕及び耐震工事をしてくれた。剥落している近くだけでも、ネットを張ってはどうか。
- ・公民館職員の不在時に公民館が利用できないので不便を感じている。

●市長

- ・不便が多いのであれば、使用ルールを確認し改善が可能か検討してもよいかもしれない。